

平成28年3月期 決算説明資料

平成28年5月11日

平成28年3月期 決算概要

平成28年3月期決算の総括

当社を取り巻く事業環境は、企業収益の改善傾向を背景に、設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、吸収冷温水機・ボイラの本格的な需要回復には至らない状況が継続しています。

受注高は、前期比 3 億89百万円増加の173億56百万円、売上高は、前期比 1 億18百万円増加の167億62百万円となりました。

利益面では、営業利益は、前期比48百万円悪化の 4 億12百万円、経常利益は過年度に計上していた P C B 廃棄物処理費用の再見積により環境対策引当金戻入額57百万円を計上したことなどにより、前期比 35百万円好転の 4 億87百万円となりました。一方、当期純利益は、当社の関係会社である同方川崎節能設備有限公司（中国）の事業に係る損失 1 億21百万円を特別損失に計上したこと並びに平成28年度税制改正に伴い、税金費用が54百万円増加したことにより、前期比22百万円悪化の 1 億39百万円となりました。

平成28年3月期損益計算書

単位:百万円

	前期	当期	前年比	備考
売上高	16,644	16,762	101%	
売上総利益	4,257	4,122	97%	
販売費及び一般管理費	3,796	3,710	98%	
営業利益	460	412	89%	
営業外収益	17	98	564%	当期は、環境対策引当金戻入額として57百万円を計上。
営業外費用	26	22	87%	
経常利益	452	487	108%	
税引前当期純利益	452	366	81%	当期は、関係会社投資損失として特別損失1億21百万円を計上。
法人税等	290	226	78%	当期は、税制改正により繰延税金資産の取崩に伴う、法人税等調整額54百万円を計上。
当期純利益	161	139	86%	

平成28年3月期貸借対照表（資産の部）

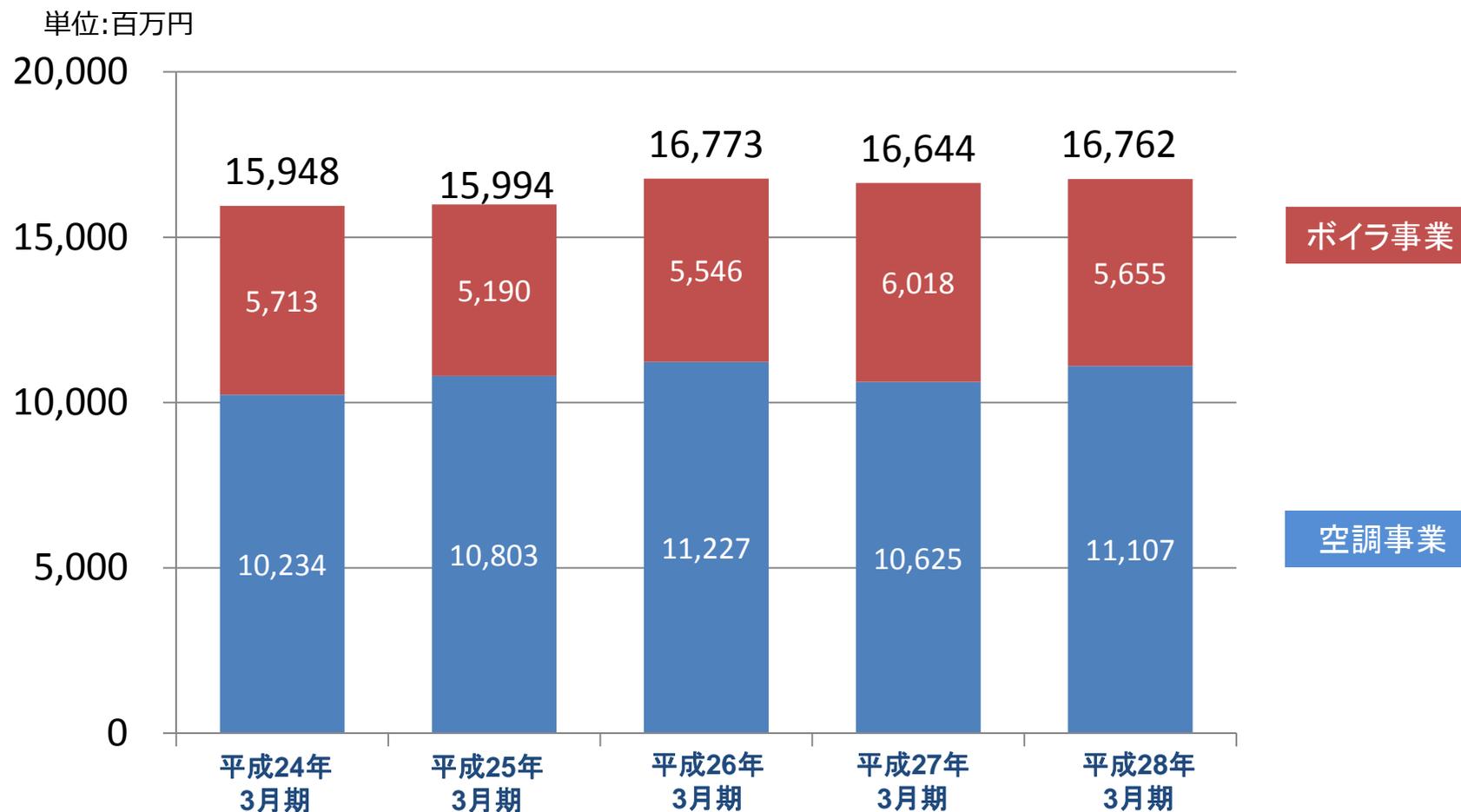
単位:百万円

	前期	当期	備考
流動資産	8,397	8,525	
現金及び預金	5	6	
受取手形・売掛金・電子記録債権	6,527	6,384	
棚卸資産	1,631	1,688	
繰延税金資産	306	299	
その他流動資産	△73	145	
固定資産	4,228	4,025	
有形固定資産	2,022	2,121	
無形固定資産	301	274	
繰延税金資産	803	780	
投資その他の資産	1,101	848	
資産合計	12,626	12,550	

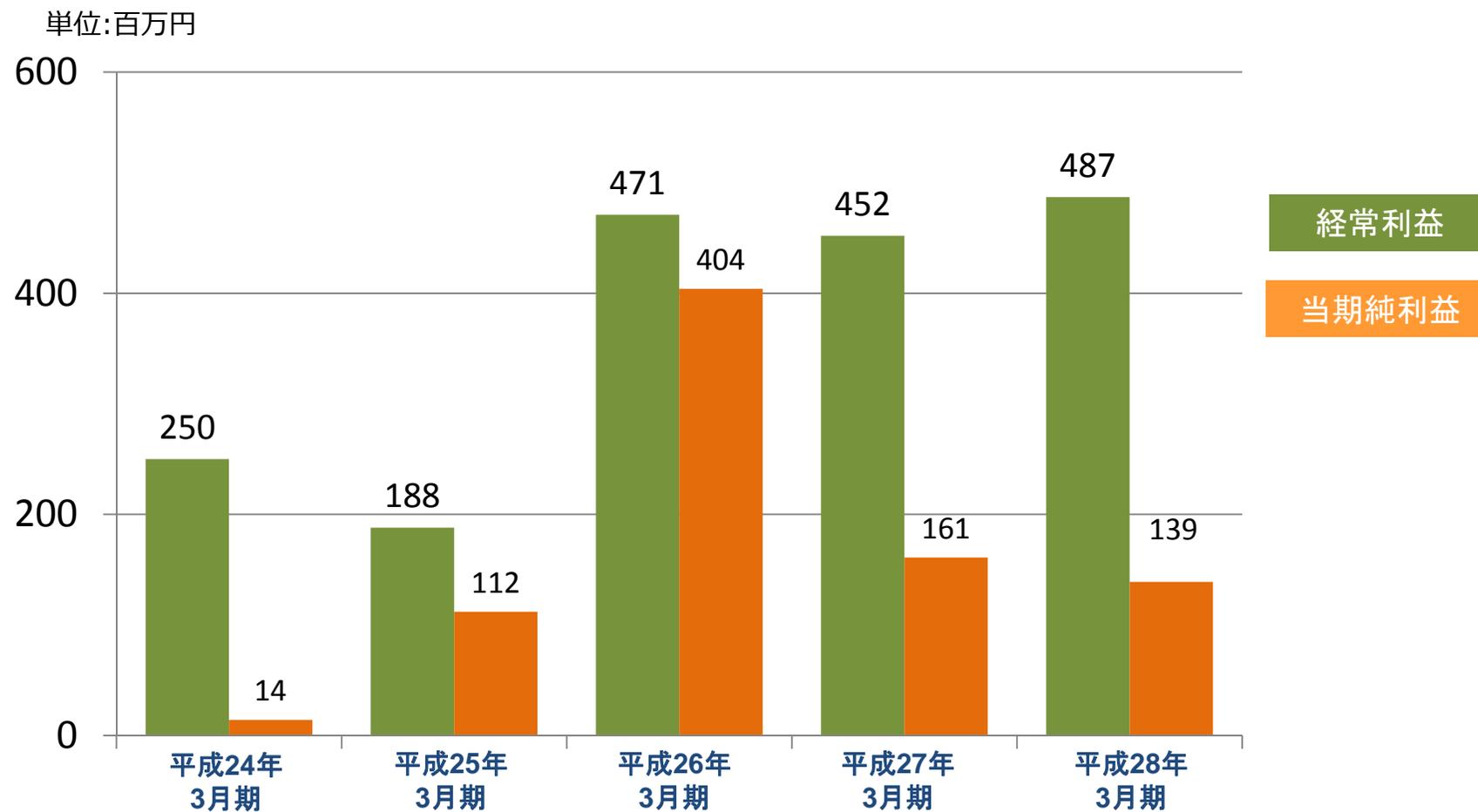
平成28年3月期貸借対照表（負債・純資産の部）

	前期	当期	備考
			単位:百万円
流動負債	5,894	5,704	
支払手形・買掛金・電子記録債務	4,001	3,721	
未払法人税等	161	154	
その他流動負債	1,731	1,828	
固定負債	2,448	2,523	
退職給付引当金	2,337	2,477	
その他固定負債	110	45	
負債合計	8,342	8,228	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,597	1,635	
自己株式	△21	△22	
株式等評価差額	18	20	
純資産合計	4,283	4,322	
負債・純資産合計	12,626	12,550	

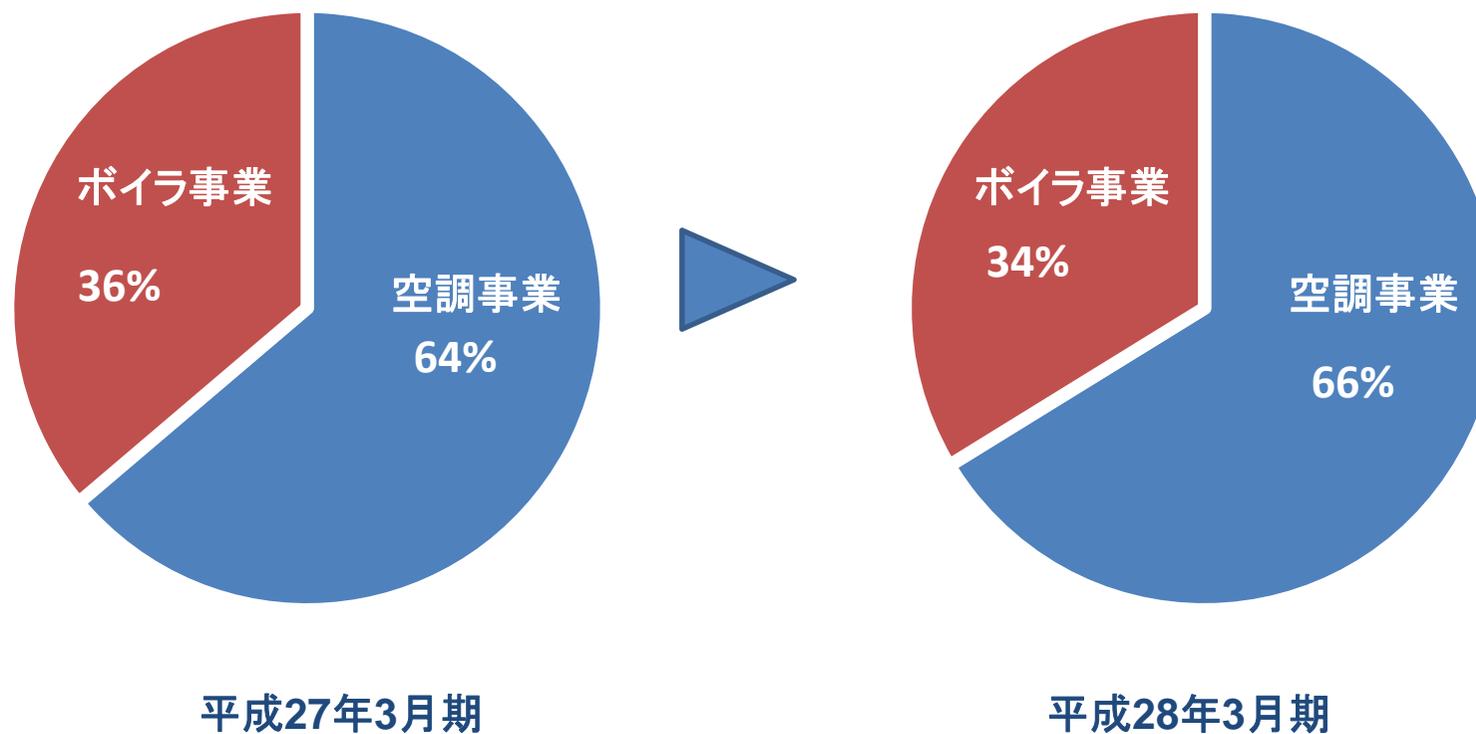
売上高の推移



利益の推移



売上高構成比の比較



事業区分別分析

空調事業

- ① 機器本体の売上高は、消費増税の影響があった前年度に比べて機器の販売が増加したため、前期を上回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、大口の改修・改造工事の売上が増加したため、前期を上回りました。

ボイラ事業

- ① 機器本体の売上高は大型ボイラの売上が前年度と比べて減少したため、前期を下回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、大口の改修・改造工事の売上が減少したため、前期を下回りました。

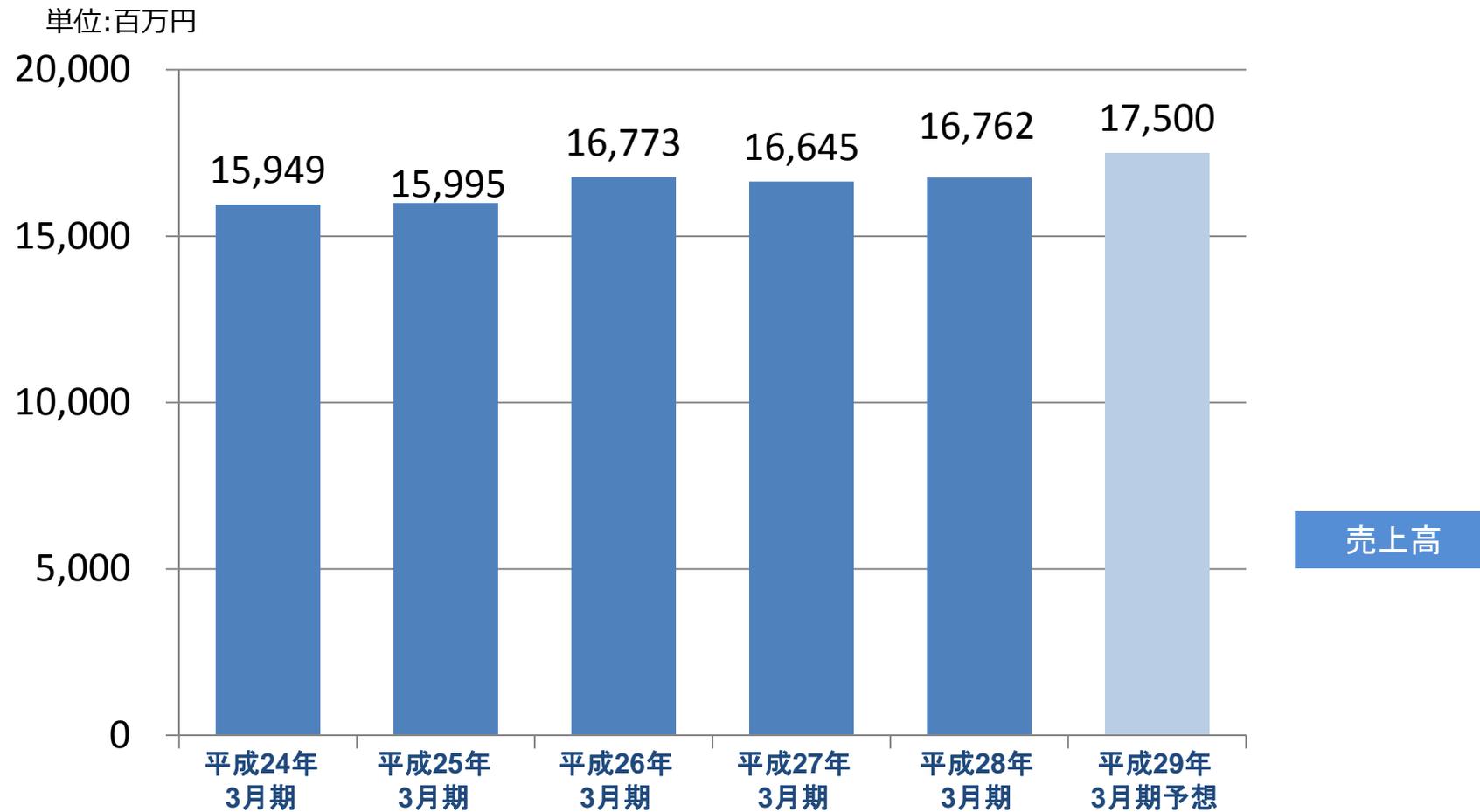
平成29年3月期 業績予想

平成29年3月期の業績予想

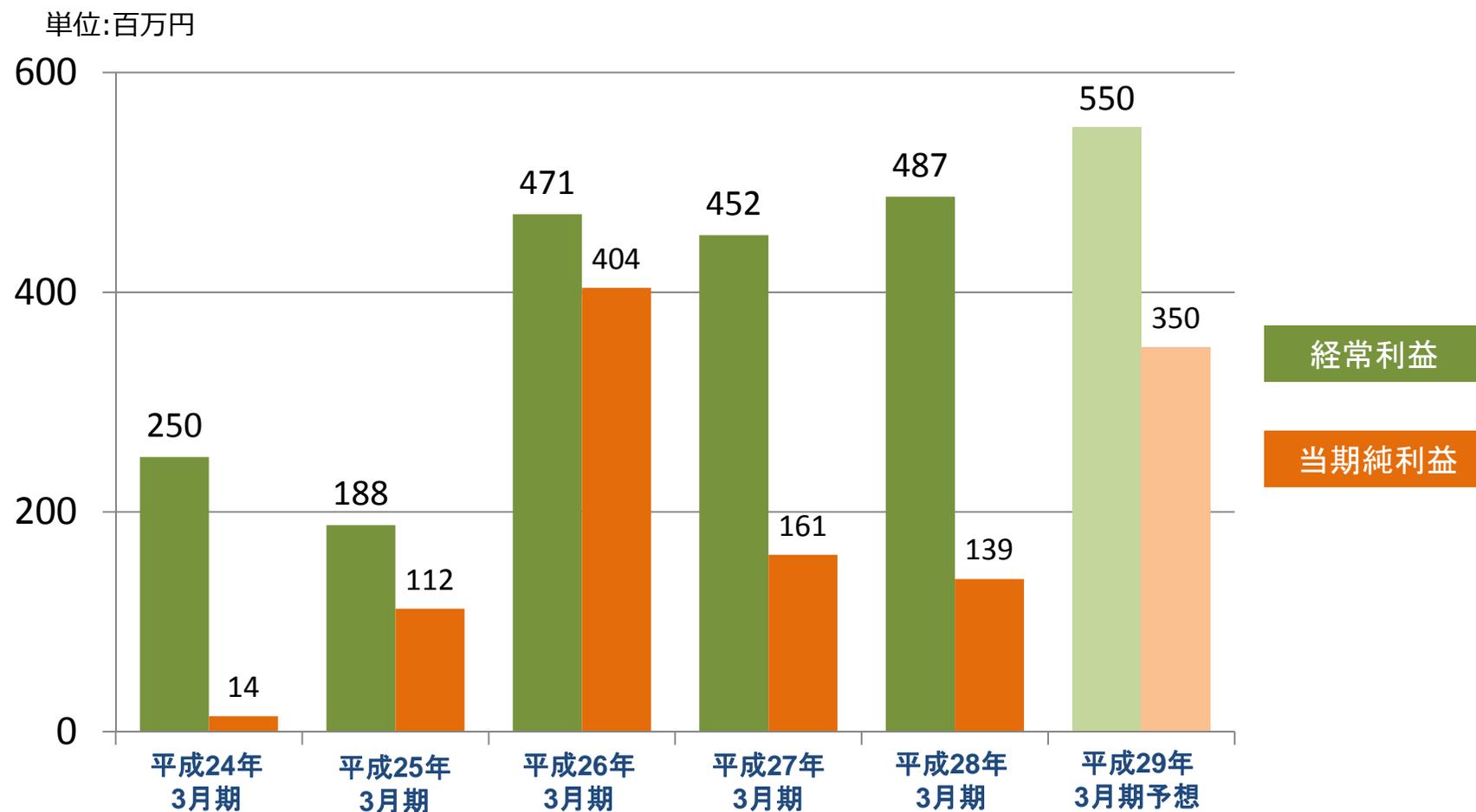
単位:百万円

	平成28年3月期	今期予想	前期比
売上高	16,762	17,500	104%
営業利益	412	550	133%
経常利益	487	550	113%
当期純利益	139	350	252%

売上の推移（予想）



利益の推移（予想）



事業区分別計画

空調事業

- ① 「省電力」「高効率」「排熱の高度利用」をキーワードに、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に取り組んでまいります。
- ② 主力機種である吸収冷温水機「エフィシオ」については、平成27年4月の主要機種ラインアップ完了により、業界トップレベルの高性能・高効率を前面に、更なる拡販に努めてまいります。

ボイラ事業

- ① 長期保証付き大型貫流ボイラ「イフリートフェルサ」をはじめとする貫流ボイラを中心に、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に応じてまいります。
- ② 長年にわたる燃焼技術の蓄積を活かした副生燃料対応ボイラの提案により、未利用エネルギーに対応するボイラの受注拡大に努めてまいります。
- ③ 「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン・ガスエンジンを中心に、排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。

本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ

 **川重冷熱工業株式会社**

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。